

## タウンミーティング記録 未来に向けて 今、ここから

日 時 令和6年9月1日(日) 午後2時～3時30分  
場 所 苗間会館(苗間東町会)  
参加者 29人



### 主な意見等

参加者 東台小学校が令和7年の春に廃校となるそうですが、今後の施設の用途はどのように考えていますか。

市 長 東台小学校がある地域は市街化調整区域のため、開発行為には厳しい制約があります。学校以外の用途に変更するには、建設から20年以上経過する必要がありますが、まだ約17年しか経過していません。そのため、20年が経過するまでは、東台小学校を廃止せず、休止という状態で存続させ、その後は教育関連の施設を誘致したいと考えています。

また、校庭や体育館はすでに学校開放などで市民の皆様にご利用いただいておりますが、休止中は、今まで以上に利用される施設にしたいと考えています。

参加者 フクトピアの横にある市の防災倉庫に備蓄する備蓄品の基準を教えてください。

市 長 震度6強程度の地震が発生した場合の被災者人数を算出し、初動72時間を過ごせる程度の量を備蓄しています。

なお、倉庫には物資を満載するのではなく、一定程度のスペースを確保しています。これは、過去の震災における支援物資の仕分け滞りの教訓に基づき、支援を受けやすい体制を整えることを目指した埼玉県の方針を踏まえたものです。

また、近隣の大店との連携や、他の防災倉庫への備蓄品の分散により、防災倉庫には必要最小限の備蓄を保ちつつ、必要に応じて迅速に補充できる体制づくりも進めています。

参加者 自治会の防災資機材整備のために、市から毎年10万円の補助金を貰っていますが、何を購入すべきか迷っています。市が整備するものと自治会が整備するものの基準がわかりません。何かガイドラインはありますか。

市長 自治会の集会所は、避難所への移動が難しい方などが一時的に身を寄せるための拠点として有効な施設ですので、携帯トイレのような応急に対応できる資機材を整備するのがよいと考えます。

ただし、具体的なガイドラインを設けると、その通りにしなければならぬと捉えられてしまう可能性がありますので、購入する品目については、必要なものを毎年順次揃えていただければと思います。

参加者 大井陸橋の側道にある道路標識が、3～5か月前から折れたままになっています。以前市に連絡した際には、三角コーンが被せられ応急処置がなされたようですが、危険なので修繕してほしいです。

市長 大井陸橋の側道は市道ですが、道路標識は埼玉県警察または公安委員会が管轄しています。しかし、市にご連絡をいただいたのであれば、市から警察に連絡をしているはずですが。本日このあと現場を確認し、あらためて警察に状況を確認いたします。

参加者 苗間神明神社の前の道路が拡幅されました。拡幅の目的として、安全性の向上が挙げられていましたが、実際にどの程度、安全性が向上したのでしょうか。都市開発や道路拡幅にあたり、土地を手放した方もいらっしゃると思います。都市開発は、工事完了とともに終了ではなく、その後の評価もしていただければと思います。

市 長 まったくそのとおりだと思います。整備に当たっては、あらかじめ様々なことを想定していますが、整備後に想定外の課題が生じることがあります。そういった課題に対して、どのような改善が図れるのか、評価・検討をすることが必要だと思います。

上沢勝瀬通り線の整備後は、警察と市の職員が一定期間、通行状況を確認していました。当初は、信号の移設等により道がわかりづらいというご意見もありましたが、現在は通行の仕方が浸透してきたように思います。しかし、ご指摘のとおり安全対策・安全確保が重要ですので、改めて通行状況についての課題を確認し、評価をしていきたいと思っています。

参加者 ふじみ野市と富士見市・三芳町の合併の話は出ていますか。

市 長 旧上福岡市と旧大井町が合併したときのように、合併特例法のような国の政策があれば、検討のきっかけになるかもしれませんが、現在は新たな合併の予定はありません。

参加者 ニュースなどでは、災害が起きた時には、高いところや頑丈な建物へ入るよう報道がされていますが、ふじみ野市にシェルターを作る構想はありますか。

市 長 市としてシェルターを作る構想はありません。有事の際には、建物の中などに避難していただければと思います。